

例題 1

スクリーニング検査に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

通常、スクリーニング検査では、陽性判定の基準値（どの値より異常であれば疾病を疑って陽性と判定するか）は固定されていない。陽性と陰性の判定をする境目の基準値を と呼び、敏感度と特異度を見ながら適切な値を設定する必要がある。

を高度な異常値から軽微な異常値に変更する、つまり、少しでも異常があれば陽性と判定するようにすると、 は上がり、 は下がる。

	ア	イ	ウ
1. カットオフポイント		偽陽性率	敏感度
2. カットオフポイント		偽陽性率	特異度
3. カットオフポイント		偽陰性率	敏感度
4. トレイドオフ		偽陽性率	敏感度
5. トレイドオフ		偽陰性率	特異度

正答番号 2

例題 2

2020年1月の予防接種法施行令の改正に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

2020年1月に予防接種法施行令が改正され、ロタウイルス感染症が「ア」となった。ロタウイルスは「イ」を引き起こすウイルスで、5歳までの「イ」の入院患者のうち40～50%ほどはロタウイルスが原因である。

「ア」には、予防接種法第2条第2項第1号から第11号までに掲げられた疾病と、同条同項第12号の規定を受けて予防接種法施行令で定められた疾病とがあるが、ロタウイルス感染症と同様に、予防接種法施行令で定められた「ア」として「ウ」がある。

	ア	イ	ウ
1.	A類疾病	急性胃腸炎	インフルエンザ
2.	A類疾病	急性胃腸炎	水痘
3.	A類疾病	細気管支炎	インフルエンザ
4.	B類疾病	急性胃腸炎	インフルエンザ
5.	B類疾病	細気管支炎	水痘

正答番号 2